

基本目標 2 交流で賑わうまち

【基本施策】①地域資源を生かした観光の推進

②スポーツによる交流の推進

③移住・定住の推進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光地を増やすことで鹿屋市の魅力が増えて鹿屋に行きたいと思う人が増えると思う。移住定住の推進は、支援制度があると移住する人たちも安心して鹿屋に住むことができると思う。 ● 最近ニュースでいろいろな方（テニス、柔道、ラグビー等の選手）が来ていると知った。このような取り組みは未来の子供達にとってとても意味のあることだと思う。移住の取り組みもされていると思うが、あまり実感が湧いていない。SNS だけでなく小・中学校に案内を配るだけでも違うものになると思う。 ● バラ園がきれい。 ● 鹿屋がバラの街と言っている割には全体的な要素としてのバラの印象が薄いと思う。バラを育てるのは難しいが、もう少し街全体をバラ関連で彩ったほうが人が来ると思う。 ● 移住、定住の推進は人口が減っている中ではかなり大事なことだと思う。ただ、私の知っている範囲までは移住してきている人は居ないので、あまりどう思っているかとかはわからない。 ● どれも鹿屋市を活性化させるために必要だと思う。考えてみれば、鹿屋市には唯一の国立の体育大学など他の市にはない特別なものがあると思う。観光に関していえば、わざわざ鹿屋に来てまでみたい何かがあるかといえば、微妙かも。 ● スポーツによる交流の推進の優先順位は低いのかなと感じた。今ある鹿屋の魅力や既存のものをまずは活かすことが最優先で、そういったことができたなら、新しい鹿屋の魅力を作っていくべきではと思う。鹿屋とスポーツがどう関係しているのかがあまりわからないため、そういったことを市民に伝えることは大事ではないかと感じた。 ● 地域資源を生かすことは、とても大事なことだと思う。せっかくある魅力を活かさずにそのままにしていたら本当にもったいない。 ● 移住、定住の推進はできるのならやるに越したことはない。 ● 鹿屋市の魅力を最大限に発揮できたらいいと思います。 ● 鹿屋はいい所が沢山あるのに全然アピールできていない。鹿屋は自然もあるしスポーツするにはとても適していると思う。 ● かのやばら園は一年中美しい。 ● サイクリングを楽しんでいる人をよくみるから。 ● 移住・定住について、鹿屋や大隅全体で住み続けてくれる人を増やそうという目標があると聞いた。

年 代	自 由 意 見
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと子ども、大人が楽しめる施設を作ってほしい。都城みたいに住みやすい街にして欲しい。 ● 移住支援金を充実させるべき。都城市のモデルを活用など ● 県外から転入してきた立場としては、ショッピングモール等の商業施設が無い点が不便に感じる。そのような施設に行く場合、宮崎市や都城、鹿児島市等まで出かけなければならない。「地域資源を生かした観光の推進」よりも現時点で鹿屋市に無いものを誘致する取り組みを推進してほしい。また、鉄道が無い点は車を運転しない都市部の若者にとっては移住の妨げになると感じる。 ● 絶対に行きたいと思える観光地があまりないので、食や自然重視の推進をした方がいいと思う。 ● バラ園に頼りすぎてるが、一年を通してあまり咲いていないところが微妙。もっと季節の花とかも植えてずっと咲いていて欲しい。 ● スポーツに関しては鹿屋体育大学でイベントを行うなどして十分な交流はできていると思う。 ● 移住、定住に関しては本当に外から移住してくる人は少ないように感じるので、やはり住みやすい環境整備をしていただきたい。 ● 鹿屋バラ園は素敵な場所だが、どうしても時期を選ぶものなので、他の時期に来ても楽しめて、複数回来て楽しめる場所にしてほしい。 ● 鹿屋出身の方をよく起用されているのを見るから、これからもどんどん鹿屋をアピールしてほしいから。 ● スポーツは、野里運動公園を作っているが、街が活性化するためには、プロ誘致等ができるくらい投資すべきだった。 ● 移住定住も結局は、そこに住む理由が必要であり、自然や食事などだけでは観光で十分。 ● 仕事や、プライベートが充実できる環境こそ、定着につながる。 ● 積極的に著名人を呼んだプロモーションを行っていて、よく目にするから。また、鹿屋体育大学というスポーツ発信の起点となるものを活用しており、地域に根づいた発展方法を感じるから ● 結婚を機に鹿屋市に移り住んでも、所得の制限に引っかかり何も補助・支援金を受給することができなかった。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住支援金、体験ツアーについて、都市部からの移住では地方のイメージと現実のギャップの差で「こんなはずではなかった」と都市部へ帰る方も多いと聞くので、体験ツアーはよりリアルな体験が必要だと思う。 ● 移住支援金が充実しているとはとても思えない。都城を見習うべき。 ● 自分自身も大阪へ就職して帰ってきた立場です。その時は1からまたスタートでしたが、何も支援制度がなく少し残念でした。移住して落ち着くまで少し時間がかかりましたが、地元で働きたい欲が強くあり、今は帰ってきてよかったと思っています。観光地も家族で行くのが楽しみで我が家は霧ヶ丘ヶ丘が大好きです。 ● 色々なイベント等があるが、鹿屋市のプロモーションが更にうまくいけばより良い市になると思います。 ● 移住などに関してインパクトのある宣伝や広告が必要と感じます。私が確認できていないだけでも思いますが。 ● 車社会である鹿屋市と自転車の相性は悪いと思う。道幅が広い道路であればいいのかもしれないが、そうではない道路では交通渋滞を引き起こし、運転者のストレスにもなる。まずは道路整備からスタートするべきだと思う。 ● 気軽に参加できるスポーツ大会や、同世代が集まるスポーツがしたい。 ● 体育の日などでスポーツに関するイベントを催しているのをみかけるため。 ● 移住支援金の金額が少ない。 ● スポーツに力を入れるのはありだと思う。交通の便が悪いので、移動手段がある人にターゲットを絞るなどしたほうがいいと思う。移住の前に人口流出を阻止すべき。住みやすい場所になれば人は自然に集まる。 ● 鹿屋市に県外から移住する際、適用になる支援がなかった。限られた一部の人のみの支援だった。 ● 豊かな自然をアピールできれば人も増え魅力のある町になるのでは。 ● 鹿屋市とスポーツについては、いまいち結び付かない。車移動が基本の町において自転車競技者は正直危険な時やストレスを感じる時がある。道路整備やルールの整備が必要か。 ● サッカー場などあればいいかなと思う。 ● 交流人口、関係人口施策は力を入れていることを感じます。自然の観光地への観光客はどの程度お金を市内に落とすのか少々疑問です。 ● 観光地としていくらアピールしても絶望的な交通手段の無さが障壁となる。費用対効果としてどれほど適正か。スポーツ振興について、地元民ですら「体育大学はアスリート候補の学生が頑張っているところ」というイメージであり、市の施策とシナジーを生んでいる印象に無い。移住・定住の推進については、大隅の中心地として人口を集約、Uターン事業の促進、の2つの柱があると思われるが、短期的には大隅の中心地として人口を集約が効果を上げやすいと感じる。Uターン事業の促進について、鹿屋は土地が安く賃貸と戸建ての月払いにほぼ差がないため、平屋のマイホームが建てやすい。全国的によくある施策を模倣するのではなく、地方ならではの欠点を利点に換える発想が求められる。

- スポーツが活性化する事は良い事だが、来年度の法改正もある事からロードバイクの専用車線を作るなど、対策を思案していただきたい。
- バラの街というのがバラ園以外でバラを感じる事がないため、バラのイメージは全くないです。
- 大きなイベントも減ってる印象で、花火大会もないです。
- 自衛隊もあるのでエアメモ以外でも大きなイベントをしてみてもはどうでしょう。
- 地域資源を活かしきれていないように感じる。
- 都城に出来た“霧島酒造スポーツランド都城”のような設計を見習うべきと思う。
- 私自身Uターンという形で移住してきたが、移住した際の支援金等が何もなく、他行政と比較すると鹿屋市は移住や定住に対する努力が足りないように思えた。
- 唯一の大学、そして体育大学の存在をもっと地域密着して活かして欲しい。
- 鹿屋バラ園ってそんなに必要なものなのでしょうか。バラにお金をかける前に道路整備等必要なことが沢山あると思います。
- スポーツによる交流の推進に関しては情報が流れてきたことがないので不満にしました。興味が無いだけかもしれませんが。
- 移住・定住の推進については、埼玉からUターンして来ましたがメリットに感じる制度がありませんでした。このままでは移住するハードルが高すぎると思います。子供が遊べる施設も少ないし。近場だと都城市が良い見本だと思いますよ。子供が遊べる施設や素敵な道の駅など充実しているなと感じます。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰の為に著名人と連携しているのかいまいちわからない。 ● ばら園のイベントは良くポスター等で見かけとても活発なイメージがある。予算の都合もあると思うが、地域資源の活用はもっと積極的に行って良いと思う。 ● 人を呼べる、お金を使ってもらい、それで鹿屋市が発展する。そこにいくのがなかなか難しいところだと思います。 ● バラ園のみで次にまた来たいという気持ちが出ない。県外、市外から人を呼ぶには食に関するものが良いのではないか。食に関して名物となるものがない。 ● 南国の気候を活かしたスポーツ誘致のための施設が不足していると感じる。 ● 移住することで、特に得することはなかったから。 ● 芸能人とかを呼ぶとかではなく、住民が過ごしやすい環境を整える事に重点を当てて欲しい。鹿屋だからできること、鹿屋にしかない魅力があれば、人は集まると思います。 ● 他県等に魅力を上手く発信していると感じられない。 ● 人口減少をくい止めてほしい。 ● 印象に残るPRがある。 ● 移住受け入れよりは、定住に力を入れるべき。 ● 若者が残る仕組みをつくるのが大事。 ● 外に対しては一部の人間が儲けを出して、鹿屋市民には何の利益もないやり方をしている。市内の人間は恩恵を受けてないので満足していない。 ● 野里に新しくグラウンドが出来たので有名なスポーツチームの試合などを積極的に開催すれば鹿屋の観光業も活性化するのは。 ● 海外の方が増えると治安が悪くなるのが心配です。 ● スポーツ関連のものをよく目にする気がするので充実している気がする。自分は、興味はないが子どもにとってはとてもいいと思う。 ● 希望する職業がないこともあり県外に行くが、地元に戻りたい人もいて、雇用の場が少ない問題について悩んでいる人が多いように感じる。 ● アピールできる何かがない。バラ園だけでは厳しいと思う ● サンシャイン池崎の存在は、市民にとっても誇りであり、活躍を期待している。 ● スポーツは鹿屋体育大学をもっと身近に感じられる企画があればと思う。 ● これだ！といった観光スポットがない。バラは何回も見に行こうとは、思わない。他県からも人が来てくれる様な観光スポットが欲しい。 ● 地域資源に関しては、バラ園とカンパチ以外が浮かばない。スポーツに関しては唯一の国立の体育大がある割には大学周辺に大型スーパー等がなく、高速道路からも遠いため在校生を不憫に思う。 ● 移住に関しては、農業の海外からの移住が増えてきたが、公共交通機関の不便さや空港や新幹線へのアクセスを考えると大手企業の誘致や大型娯楽施設等がなければ厳しいと考える。 ● 鹿屋特有の畜産の臭いには長年住んでいても慣れないし、他市町村の方からも指摘を受けたこともあるため、改善や対策をしなければ住みたいと思う市には

ならないと思っている。

- どれも大切だが、どれほど実地運用しているかわからないです。
- 鹿屋市にもっと人が増えれば活気もでてくるのではないかと思う

年 代	自 由 意 見
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住定住の推進について、日本は人口減少が激しくなります。いかに移住してもらおうかをもっと取り組んでいいと思う。自然にあこがれていても不便であれば定住しない。いろんな人の意見を聞いて柔軟に変えていく、それに対応していくのが今の時代だと思う。 ● 空港からは遠いし、中央駅（鹿児島）からも遠いので、観光にわざわざ来たいか。と思う時がある。 ● バラ園は郊外にありメインとなりえない。自転車は、奄美同様に陸上等の実業団の誘致を図るべき。移住・定住の前提は魅力ある街、道路整備等を進めないに住みたいとは思わない。 ● 観光地づくりをするものではないと考えている。地場産業の産業、まちづくりをすすめさえすれば、そこに魅力が生まれるもの。観光地づくりを意識するから凹凸になるのではないかと思う。地場さえしっかりすれば20年先は、観光は見えてくるのでは。 ● 地域資源を生かした観光の推進は大事だと思います。また、鉄道廃止後の交通として、観光地との往来にバスが今よりも多く運行して頂ければと思います。 ● 著名人の方々、魅力的な方で地元愛あふれるの方々ばかりで良いと思う。今後も鹿屋の力になってほしい。豊かな自然は年々減らされていることを目のあたりにしている。豊かさをとりもどしてほしい。シェルブルー等地域密着のチームは愛着があり応援したくなる。 ● 鹿屋体育大学、バラ園は創設されてから何年経ちますか。もっと盛り上がっていてもいいはずです。 ● 鹿屋体育大学との連携は、不十分でしょう。 ● 鹿屋体育大学と地元の学校との交流が少ないと思う。 ● 著名人とは池崎さんだと思います。保護猫活動を頑張っていってほしい。鹿屋市も保護猫活動をもっと支えて行ってほしい。猫餌や猫トイレの支給支援、ペット可賃貸住宅への支援や拡充、動物病院への支援など。むやみな避妊去勢手術は、猫絶滅へ繋がります。猫と人が本当に共生できるトルコのような街にしてほしい。 ● スポーツによる交流の推進については、学校の部活動の受け皿となるクラブ、指導者を早く確保してほしい。 ● 他地域からの人の流入が重要だと思います。 ● 若年世代と鹿屋産業×移住の施策を進めるといいと思う ● スポーツについては、体大もあって全国だけでなく世界にも飛躍している方々がいます。あとは、どうこれを活用し盛り上げていくか、だと思います。ちなみに、JALは離島のアスリート教室を積極的にやっているようです。企業の発信力や社会貢献も活用されてはいかがでしょうか。 ● せっかく鹿屋体育大学があるのでどんどんイベントなどで子供達にいろんな体験をさせてあげて欲しい。 ● 全国にアナウンスすると共に空き家バンクなどを充実させる。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 移住の話より出生率向上が急務。観光やスポーツの推進も既存のものでは時代遅れ。● 地域に特化した観光への取り組みが良くスポーツを通じた人材育成効果もあると感じている。● 移住、定住の取り組みがわかりにくい。● 交通の便が悪い大隅半島では、自転車によるまちづくりが手掛けやすいと思う。田舎の良さをアピールしても、普通の田舎は数多あるので埋もれてしまう。● 池崎さんや哀川翔さんなどで鹿屋市を知ってもらえている。● 雇用を増やせば定住者も増え、街の活性化に繋がると思う● 過疎地域になりつつあるので、移住される方が増えるのはいいと思う● 観光・交流は民間主導で行政は動かないほうがいいのではと思う。行政主導で動くなら利益を出す道筋を出して動く、民間等に中途半端な助成金をかけない。● 移住・定住に関してはゼロサムゲームになるので意味が感じられない。外国人受け入れは必要。 |
|--|

年 代	自 由 意 見
60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 古民家ブームで古民家を求めて移住する人もいますが、住んでみてからのトラブルが多い。水道の漏水など修理の助成金を希望します。移住される方にデメリット部分も説明していますか。 ● かのやばら園、観光農園は魅力があると思う ● 自転車によるまちづくりは、時々プロの方がマスコミに出ており、少しは分かります。 ● 移住・定住に関してアピールが足りないと思う。 ● 移住の場合は町内会の内容を知ってもらい、入会を義務付ける。道路清掃も必ずしてもらいたい。 ● 人口減少社会において大いに好転することは考えられない。まして大工業都市なぞ望むべき時ではない。だからといって手を拱いてばかりもいられない。現状+α位で肩肘張らずに発信、連携、移住の勧めを願います。 ● 人口減少の中でどのような対策をとるか取り組んでいただきたい。 ● バラ園や観光農園など魅力ある観光地とあるが、施設だけの拡充整備だけではなく、加えて旅費、宿泊費の補助制度やバスによる移動手段の拡充整備を進めてもらいたい。街を訪れた人の市内での観光地と言われるところへの移動手段が、自家用車、レンタカー、バス、タクシーとあるなか、ナビの普及によるレンタカーが考えられるが、中心部に無い。一方、バスは市内各所で乗降車できる。しかし、便数が限りなく少ないことや小型バスでの運行もないことから、目的の場所への移動をあきらめる方も多い。 ● 移住・定住についても、車社会の田舎町での移動手段の確保制度の整備。また、市内各所を走行している公共交通機関（バス）の運行補助の拡充も市内の移動手段として移住者・定住者の促進に繋がる可能性がある。 ● 体育大学との連携した、大会開催や合宿の誘致について、市内の施設利用だけではなく、大崎町にある県の施設の利用等も考慮してはどうかと思う。加えて、鹿屋市に宿泊してもらうために、今ある補助の見直しを他市に先駆けてやってみたらどうかとも思う。 ● 移住については基本的に日本人であること、地域の文化やルールを守れる人であって欲しい。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光に頼ってはいけない。基本的に地産地消で、できるだけ経済は大隅半島内出まわすという基本姿勢を貫くべきだと思う。 ● 鹿屋市政は前向きに取り組んで頂きたい。 ● スポーツ関係に金を使い過ぎている。福祉関係に使って欲しい。 ● 季節の花を植えて下さい。花が少ないと思います。 ● フィットネスパースの整備。 ● 野里運動公園が新しく出来たので、スポーツ大会やスポーツ教室等を増やしてスポーツ人口を増やす。 ● 夏祭りの夜の踊りについて。鹿屋の中心街も淋しくなりました。街灯もなく真っ暗な通りを踊り連も見人人も少なくなりました。鹿児島市のハンヤ踊りみたいに、昼間に出来たらと思ったりします。 ● 空き家をいかした移住計画、支援等できたら人口も増えていくのでは・・・。 ● 有名なばら園をもっと広めて、一年を通じて来場を楽しめる取り組みを考えてほしい。移住支援金等の増額により、定住促進を図ってほしい。 ● 他の市に比べて、地域の資源を活かしていない。